

記念植樹スナップ



植樹の地に立てられた標式は、風と雨の中に毅然としている。



標識の裏面に名をつらねる。



四月の恨めしい雨と風、然し誰の胸にも新しいスコップに万感がつたわって行く。



“みんなで植えよう。この林が四月の雨を最初に根から吸い上げて大樹となれかし、何年か後に植えた人の笑顔が偲ばれる程に。



マイクを握って立つ記念事業を担当された浅田真章君、思い出を別項に書いてもらおう。雨と風の合間に撮った写真である。



風が吹き雨を含んだ露が飛ぶ雨山君のコートが舞う、高杉湯河原町長も元気にスコップを握って植樹される。



湯河原R・C

10周年記念植樹について

記念事業部 浅田真章

観光地湯河原として、春は椿にはじまり、新緑の中に桜花が爛漫と咲き乱れるつばきラインの風情はまことに見事ではありますが、秋には落葉を踏んで紅葉を楽しむ場所も是非欲しいものと、湯河原ロータリークラブ10周年記念事業として、会員のご賛同を得て城山に山紅葉の植樹を行うことといたしました。

加藤実行委員長のご努力で城山の入口に植樹の場所を選定し、事業部員岩井君のお骨折で山紅葉3,655本を購入して(内700本は横浜市南農協植木部長のご寄贈)昭和48年4月8日～9日の両日湯河原農協青年部のご協力により植樹を完了いたしました。

植樹の当日は事業部員の榎本、吉田、西山稻葉の諸君の積極的なご協力をいただき、降雨と深い霧の中で極めて困難な作業でしたが幸い活着率は極めて良好で、皆様のご努力の賜と深く感謝いたしております。

10周年記念植樹の記念碑の建設は、僅か10日間の短期間の内に、井戸倉建設株式会社とランケイ社のご協力により立派な記念碑が建設せられました。

4月20日の湯河原ロータリークラブ10周年記念祝賀の当日、ご参列の方々が城山までバスでご案内いたしました。生憎強風と濃い霧で視界が不十分なため、記念植樹のみで戻りました。

ガバナーより記念事業についてお褒めの言葉を賜りましたが、植樹の後の手入について心配されておりました。しかしながらその後岩井君と農協の方々のご努力により、山紅葉は元気に育っておりますので、何れ城山の入口に秋になると紅葉の美しい山が、人々の目を楽ませる日もそう遠くないことでしょう。

会員の皆様とともに、この記念事業が湯河原ロータリークラブの10周年の記念事業として、紅葉を社会の人々に楽しんでいただけるよう、今後も紅葉の手入に努力してまいります。

終りにこの記念事業に深い理解をよせられ植樹費15万円を湯河原町より撥出していただいたことを感謝いたします。

(事業費572,500円内山紅葉購入費472,500円記念碑建設費100,000円)



10周年記念に際して

榎 原 正 愛

月日のたつのは早いもので湯河原ロータリークラブが創立10周年を迎えました事はまことに御同慶にたえない次第です。年のせいかすべて忘れがちであります。会長当時の事を思い出して一応責任を果たしたいと思ひます。

初代・二代天野会長、三代小沢栄三郎会長、四代直井会長各先輩の後を受け次いで浅学非才な私が五代会長に推されお引受け致したものでありますが、まことに自信がなくてそわそわしている内に第1回の例会が来しました。案ずるより生むが易しか、何とか司会する事が出来たものです。とにかく五代ともなればクラブでのすべてが或程度充実し、会員の方々もロータリーに慣れて御協力を頂き会の運営もスムーズに行われ会長としてほんとうに有難い事であると思ひました。

初代天野会長の方針である「奉仕の理想」のもとに友愛と親睦をモットーに、明朗にして和やかな雰囲気は例会に引継がれクラブ内の交りを楽しむ事に努力致したものです。

5年間の経験をもちまして地域社会に確固たる根を下し多くの人達にロータリー精神が正しく理解され立派なクラブに成長したと思ひます。此れは一重に歴代会長並びに会員の御協力の賜であると感謝をしたものであります。

お恥しい話ですが、私会長と云う事になって例会の食事ですが満足に食べた事ありません。食事後の会長挨拶の事を考え食事がのどへ通らなかつた様です。会長の任務を解かれ初めてやれやれと全部食べられそして味もわかる様になったものです。

家族会も親睦委員のお骨折で盛んに行われた様に記憶して居ります。当時オープンしたばかりの日通富士見ランド、宮の下の富士屋ホテルでホテルマナーの勉強等は忘れる事の出来ない思い出です。

私が会長の在任の1ケ年間行事が非常に多かつた様に思ひました。5周年記念の式典は質素でしかも有意義に行われたように記憶して居ります。来賓は当時のガバナー白山ガバナー中村バスターガバナー拡大委員の清瀬さん分区代理岩崎さん、特別代表小田原クラブの宮坂さん等でした。第3分区のインターシティゼネラルフォーラムのホストクラブに当りまして此れも盛況に行われました。

私現在湯河原南クラブに転籍致しましたが本家の湯河原クラブの増々発展に対し敬意を表し今後の御活躍を念ずるものであります。



親睦委員長の八亀広蔵君の特にこやかに祝宴の開式のことば、厳肅な式典、山の記念植樹が終ったあとののびのびとした時がこれから始まる。



「かがみわり」田中ガバナーの慎重なかまえ熊野君が側で見守る。この樽の中にうま酒は満ち、このうま酒はあふれる感激とともにある。



今井徳左衛門氏の祝辞。



清瀬二郎氏のお祝の言葉。



歌謡となり、今井さん第一番。



国旗のたれ下がる観光会館の三階大広間はなごやかなふんいきで一ぱいになる。記念式典の緊張からときほぐされた安堵と諸業無事終了のよろこびが重って、いよいよ最高潮になる。来賓をはじめ会員ののど自慢がさらに満堂を祝一色にして行く。



稲葉君、及川君、小松君、よい気持になってくる。



葦島分区代理の発声により湯河原ロータリークラブの万才を力強く。



昭和45年4月湯河原南R・Cが生れた。その前に会員の現南R・C会長橋本君、寺井君、飛田君の顔が見えるこの日元会員で苦楽をともにした南R・Cの五味淳芳、飛田金次郎、亀川芳次、三輪宣照、中根孝保、檀原正愛、小沢新太郎、寺井武雄、勝山長男、橋本徳治、の諸氏が参会された。迎えられる者、迎える者、そこに同じ感激がある。



手に手、輪に輪合唱のうちに記念すべきこの日が終る。誰の胸にもこの日の感激が残る。



無事に全部が終了した十周年記念式典、一同にて記念撮影。



思 い 出

吉 光 閱 爾

昭和27年頃だったと思いますが、黒須巳之吉先生の口から時々ロータリーという言葉を聞くようになりました。然し私が知ったことと申しますと、チャーターナイトのおみやげとか、親睦会のビヤーパーティーだとか、だれその宮様のスピーチだとか、とにかくとりとめのないことばかりでした。

湯河原に転勤になって5年程経った頃……早春の頃でしたか……黒須先生が「天野さんから湯河原クラブ創立の話と、入会への勧誘があったがどうだね」と話して下さったのが最初で、あれよあれよの間に創立総会が天野屋新館で挙げられました。もっとも私にとってはあれよあれよの間でしたが、その間に私の知らない骨折りがあった事は申すまでもありません。その後間もなく行われたガバナー公式訪問だったと思いますが、それが大そう印象的でした。どうもあの頃の行事は何が何だか分からない感じでした。それと申しますのは私自身の無知の為で、総会もアセンブリーも家族会も、どこでどう切目があって続いているのかわからないまま夢中でついて歩いていたので。ですからあの時今は亡き中村ガバナーのすばらしいスピーチのあった湯河原カントリークラブでの会合が何の会合だったか定かではありません。各自夫人同伴であったから家族会であったのかも知れません。

当初の例会場は西湘信用金庫の会議室で、会長が天野さん、幹事が加藤さん、会計は八亀広蔵さんだったかと思います。適材適所を絵に画いたようだと感じ入ったものです。何も知らない私が情報委員長で、何をしたものかと考えあぐんだ末、ロータリー手帳にある定款細則等を皆さんと一緒に読んで勉強したらと思いい例会の時一寸時間を頂いてそれを行いました。迷惑だったかと思いますが、中にはほめてくれた人もありました。

昭和38年秋アメリカでの学会出席を兼ね病院見学に行った時、メイクアップの車が大そう気に入り、当時の天野会長に無理にお願いして書いて頂いたメッセージを持って4クラブに出席しましたが、当時は日本人がまだ希少価値があったようで、大そうもてたものでした。特にハリウッドクラブでは、私を会長の側に立たせて、何か会長がしゃべると皆がどっと笑いこける寸法で、私には何のことやらさっぱり分らず、ただにたにたしていたのですが、まあ落語に出てくるよたろうの御使いを地で行ったようなものでした。5百ドルのお金をどうやりくって1ヶ月の滞米生活をするか頭を悩ましていた頃の日本人が、米国人にとってさぞ可愛らしく見えたのでしょう。



10周年に思う

加藤 福松

早いものでR・C生活10年を迎えた。記念誌を編集するにあたって初代幹事だった関係で「創立当時のあれこれ」を書けと編集委員長の八亀昌美君から命じられたので当時の思い出を綴ってみることにします。今年の4月20日が創立満10周年になるから当然10ヶ年前の4月20日がわがクラブの創立日になる訳だが、私にはそれより約2年程前に実質的なクラブ創立の中心的力であり初代会長である天野さんが私を小田原クラブの例会に連れて行かれたことがあった。あとで聞いたことだが当時小田原クラブではロータリー活動のP・Rを兼ねて会員一人ずつ毎週例会にお客さんと呼ぶことになっていて丁度その日が天野さんの番だったのでたまたま私を供なったとのことだったが、その時すでに天野さんの考えには湯河原へクラブ創りの構想があったのだと思う。メインテーブルに座らされて固くなって食事をごちそうになったが、今日でこそ型の如き例会プログラムを知っているものその時は実に和やかな素晴らしい集いだなあと思いつつ会長さんに天野さんのお客さんの湯河原の加藤さんと紹介されて皆さんの拍手を受け上気した気持ちですっかりとまどったことだった。その時会長さんから「四つのテスト」の額を頂戴したが今日でも私の事務室に掲げてあって、殆んど毎日その額を見るたびにその日の模様が浮んできます。当時天野さんは小田原クラブの幹事をされていたらしく、鎌倉クラブのチャーターナイトに出席される方々の名前を讀上げたりしていたのをおぼえている。帰りの列車の中で天野さんが突然「湯河原へロータリークラブを創ろうと思うんだがどうだろう？」と言われた時にびっくりした今日でこそロータリークラブの会員の資格、条件等は会員の初歩的知識として知ってはいてもその頃の私のロータリークラブについておぼろげながら持っていた概念は金持ちが社会奉仕をするための団体であり、関東大震災の折に世界各国のロータリークラブから沢山の義捐物資が日本に贈られたということを当時の新聞で読んだことがあり、その記事の中にロータリークラブの組織が解説されていたことを記憶している。戦後上野駅の待合室に東京ロータリークラブの例会日と場所を知らせるロータリークラブのマークの画かれた看板が建っているのを見て東京にもロータリークラブがあることを知った。そんな訳で天野さんから突然言い出されて返事にこまったけれど何れ何人かの方々と相談して御返事しますと、その日は別れ、その後1週間ばかりのうちに3、4人の方に天野さんの意向を伝えたところ皆が皆「とんでもない、湯河原になんかそんなものが出るはずがない」と相手にしてくれなかった。中には「そんなものは金持ちの道楽事で我々が

そんなものに入ったら家がつぶれてしまう」とまで極言された人もあった。そこで仕方なく天野さんには「どうも時期尚早と思われるのでしばらく時間をおきましょう」と復命した。その後1年半位たった12月初旬頃だったと思う再び天野さんから「もうどうだろう、もう一度計画しようじゃないか」との話があったので再び創立の具体的な活動に入った。まず地域を湯河原と真鶴地区とし、その地域から何人かの人に集ってもらって天野さんや小田原ロータリークラブの方々にも来てもらってロータリークラブについて色々説明してもらいようやくクラブ創りが軌道に乗りかかった。当時集ったのは結局キーマンとして創立までに随分と苦勞をした訳だが真鶴地区から檀原さん、吉浜から小沢栄三郎さん、湯河原から小沢新太郎さん、天野さん、高橋柳吉さん、それに私がつばら連絡及び書記役として末席をけがした。親クラブの小田原クラブから今井さん、特別代表の宮坂さん、分区代理の藤沢クラブの岩崎裕孝さん等が12月から1月にかけてそれぞれお忙しい方々が寒夜もいとわずクラブ創立のために何回も天野さんの家へ来られてあれこれと指示して下さいだったので比較的スムーズに事務ははこんだ。特に小田原商工会議所の堀さんが小田原クラブの事務を扱っていた関係で書類の作成等については大変なお骨折りにあづかりこの紙上を借りて当時をしのびつつ厚く御礼を申し上げたい。一方クラブ創りもどんどん進んでチャーターメンバーの獲得に努めた結果ようやく創立総会の日時も決定され無事4月20日を迎えたのだったが、湯河原ロータリークラブが出来たのは何と言っても天野さんの人格とお力があったからこそキーマンもクラブ創りに努力して下さったことにまちがいない。創立総会を迎え初代会長を天野さんは当然としても私が幹事役をおおせつかるなんてことは夢にも思っていなかったので辞退したけれどロータリーは言われたことは服さねばならぬとのことで五里霧中のうちにお受けした。創立に当って副会長以下それぞれの役職も決ったのだがS・A・Aがどんな仕事をし、どの役がどんな仕事をしよてよいやら全然知らなかったのではばらくの間は例会の食事私注文したり、S・A・Aに対しては誠に申し訳ない越権行為だったわけだ。幹事報告やら何やらと心配で食事緊張しているので汗をかきながら食べるので少しも美味しくなかった。会長報告、幹事報告等を整理したり、しかも当時の書類がほとんど英文だったので、これにはまったく困った。英語など全く弱い私は翻訳を月ぎめ5千円で依頼しようと理事会へ予算要求して否決されておわったこともあった。しかたなくコンサイスを買って首引きの一日もあった。西相信用金庫の2階に机を一つ借りて毎日午後はロータリーの事務におわれて自分の仕事もそっちのけだった。これが習い始めの「奉仕の理想」の一端かなあとも思ったりした。幹事提要や手続要覧を読めば読む程幹事の仕事の重要さ、多忙さが判って柄にもなくとんでもない役を引受けたものだと思いたこともあった。初代幹事ということでもう一つどうしても書いておきたいことはチャーターナイトについてだ。会員全部がそれぞれの準備委員会を作って準備を進めてくれたけれど書類や印刷物等は全部幹事の役目で目の廻る様な忙しさだった。見学のために横浜磯子クラブのチャーターナイトに全員が出席したりしたがチャーターナイトの一週間位前からはほとんど眠れぬ夜が続いたが全員一致の協力、特に八亀昌美副幹事の緻密な企画の

適切さのおかげで無事終った時はほんとうに肩の荷が降りたとはこのことかと思
ったことだった。しかも当日の参加者は1,248人という大勢の会員が全国から参
加されてチャーターナイトの参加人員としては当時日本のレコードだったことも
付け加えておきたい。まだまだ失敗や苦心の思い出話も沢山あるけれどなんとか
初代幹事を大過なく務めさせていただいたのは会員の御協力はもちろんだけれど
初代天野会長の懇切なアドバイスと対外的なお顔の広さがあったからだと過ぎ去
った10年を思い出しながら未筆でほんとうに失礼ですが御礼を申しのべさせてい
ただいて「創立当時のあれこれ」の責任をはたしたい。



田中第359地区ガバナーの祝辞があり、これからの歩むべき道とそれに対する責任を感じさせられる。



創立当時の分区代理の岩崎祐孝氏の別項の如き祝辞があった。湯浅バスターガバナーは御出席にならなかった。



高杉湯河原町長の祝辞があった。



稲葉副会長の閉会の辞、待ちに待ったこの日この時が無事に終了した安堵があった。

年 譜

10年の歩み

10年の歩み（1年目）

年月日	事 項	備 考
37 2 26	第1回創立準備会を天野屋新館で開く。小田原R・Cをスポンサークラブとして湯河原ロータリークラブ（仮称）を設立することとし出席者6名をキーマンと決定	出席者 天野弘之。高橋柳吉。小沢栄三郎。小沢新太郎。梶原正愛。加藤福松君
4 20	創立総会を天野屋新館ロビーで行う	来賓 中村米平。湯浅泰三。岩崎裕孝。武田国三。飯沼相三郎。柳瀬省吾。清瀬二郎。宮坂寛次郎。今井徳左衛門。佐藤兼吉。井上仙蔵。八亀武雄。橋本徳治氏（以上13名）
5-7	5月7日付で正式に国際ロータリーに承認された（メンバー24名）	
5 11	第1回例会 初代会長天野弘之君により開催。新入会員4名を承認	小伝広。丹羽弥太郎。稲葉隆。五味淳芳君
5 25	ガバナーより承認状が到着、岩崎分区代理より会長に伝達される	
6 15	国旗とロータリー旗が出来、ロータリー旗は小田原R・Cより寄贈さる	
7 27	チャーター伝達式準備を協議、準備委員長伊藤鶴松君	
8 10	クラブ会報第1号発刊	
11 7	小伝広君 急逝	
11 14	ラハリー会長歓迎会（小田原、箱根、湯河原R・C主催）	午後5時～8時 於箱根富士屋ホテル
11 29	ガバナー公式訪問	24名中20名出席
30	"	
12 5	家族親睦会	明治座にて観劇会
12 21	チャーター伝達式明年3月29日と決定	
38 1 25	チャーター伝達式準備委員会各中間報告	
3 29	チャーター伝達式	
3 30	インターシティゼネラルフォーラム出席	ホスト茅ヶ崎R・C 於東洋陶器(株)茅ヶ崎工場
4 26	地区協議会	ホスト東京品川R・C 於高輪プリンスホテル
27	"	ル

5 10	西相信用金庫本店より会場・事務所 を観光会館に移転
5 24	神奈川県分区が 3 つになり、当クラ ブは第 3 分区に属した
6 21	社会奉仕・国際奉仕両委員会により 道標 4 本を要所に設置

10年の歩み（2年目）

年月日	事 項	備 考
38 7 5	1年間出席率100%会員に皆勤賞贈呈	12名受賞
7 19	ボーイスカウトへ天幕寄贈	
8 2	クラブ創立以来初の例会日全員出席	28名
8 16	湯河原第4団ボーイスカウトへ団旗と祝い金贈呈	
8 23	社会奉仕委員会城山学園児を箱根方面ドライブに招待	
8 25	家族親睦会	小田原市民会館にて新国劇観劇
9 26	第358区地区年次大会出席	8名出席
27	"	
10 18	例会後クラブ協議会	
10 24	ガバナー公式訪問	
25	"	
11 1	社会奉仕委員会により湯河原中学校へ植樹苗木寄付	
11 22	カール・ミラーR・I会長が箱根に	
23	静養された為小田原及箱根クラブの会長と共に懇談	
11 27	インターシティーミーティング	於東京帝国ホテル
12 1	湯河原ライオンズクラブチャーター伝達式へ出席	
39 2 1	神奈川県第3分区インターシティーゼネラルフォーラム出席	ホスト秦野R・C 於光鶴園
4 24	第358区地区協議会出席	
25	"	
6 19	新潟地震罹災者へ新潟R・Cを通じて見舞金を送る	
6 26	1・2年間皆勤出席者に記念品贈呈	

10年の歩み (3年目)

年月日	事 項	備 考
39 7 1	7月1日をもって当クラブは第359地区に組換となる	
7 1	“富士山をきれいにする会”に協力 寄付、例会後クラブ協議会	
7 20	神奈川県FR・C全会長、副会長、 幹事の懇親会出席	
8 7	第359区地区研究会出席	6名出席 ホスト横浜西R・C
8 21	例会後家族親睦会	於箱根小涌園
8 28	クラブ協議会	
9 24	ガバナー公式訪問	
25	”	
11 24	第359区地区年次大会出席	ホスト横浜R・C
25	”	R・I第359区地区大会で天野君資格審査委員に選ばれる
40 1 8	クラブ協議会	
2 9	神奈川第3分区インターシティーゼ ネラルフォーラル出席	
3 26	社会奉仕委員会より門川ボーイスカ ウトへ育成金を贈呈	ホスト厚木R・C
5 21	湯河原派出所へ写真引伸機を寄贈	
6 18	例会後家族親睦会	
6 28	第359区地区協議会	真鶴一周と夕食会 於真鶴ホテル ホスト熱海R・C 於ニューフジヤホテル

10年の歩み（4年目）

年月日	事 項	備 考
7 1	会員の天野弘之君第3分区代理に就任	
8 13	町役場へ書架贈与し、その札状あり	
8 20	早朝野球大会にカップ贈呈	
8 26	熱海R・C、熱海南R・Cと懇談会 に出席	於熱海ホテル
8 27	1年・3年皆勤出の表彰 例会後家族親睦会	於熱海後樂園
9 7	湯河原中学校へ“少年の像”寄贈除 幕式参加	
9 8	神奈川県下R・C会長、副会長、幹 事懇談会出席	
9 17	職業奉仕委員会により湯河原町清掃 作業員に感謝状を贈呈	
10 1	ガバナー公式訪問	
10 8	町主催菊花大会にカップ贈呈	
10 13	東日本連合地区大会出席	於代々木国立競技場 出席率10位で表彰を受ける
10 15	本日よりロータリーソングの指導を 五味副幹事がとる	
11 19	笹部バスガバナーの卓話	
12 4	“第359区地区協議会”に当クラブ がホストに推薦される	高橋柳吉君他14名東南アジア旅行
2 7	第359区インターシティゼネラルフ ォーラム	ホスト大和R・C
2 11	地区協議会ホストクラブとなり6月 26日(日)に決定	
2 18	クラブ協議会	
2 25	柳瀬バスガバナーの卓話	
3 11	地区協議会の準備を協議	
4 15	地区協議会打合会	
5 20	地区協議会準備委員会成る	
6 26	第359区地区協議会を開催する	於湯河原中学校及び観光会館